

～いいものを作れば儲かることを伝えたい！～
清野 弘和さん（伊予市）

温室みかん農家、愛媛県農業指導士 1955 年生まれ



☆経営概況☆

両親と共に温室みかん 13a、キウイフルーツ 30 a、紅まどんな 18a、甘平6 a、温州みかん 5a などの生産に取り組んでいます。

☆ここがポイント☆

■いいものを作れば市場は取ってくれる！

温室みかんは、日本一のかんきつ県である愛媛にとって、夏に欠かせないものだと思います。農協を通じて台湾への輸出にも取り組んでいます。温室内での防除や家での選果などの作業は大変ですが、採算も取れているうえに市場からの引き合いも強いので、もっと若い人たちにも戻ってきてみかんを作って欲しいと思っています。

■いろいろなところから情報収集をして生産に活かす工夫を！

他の地域に行っているいろいろな話を聞くことは、農業にとって本当に大切なことです。そこから得られる情報を基に試してみると、品質が向上するなど、より前向きに農業に取り組むことができます。

最近では、紅まどんなのマルドリ栽培のほか病害虫にも強く手間がかからないアボカドが女性に人気があると聞いてチャレンジしています。

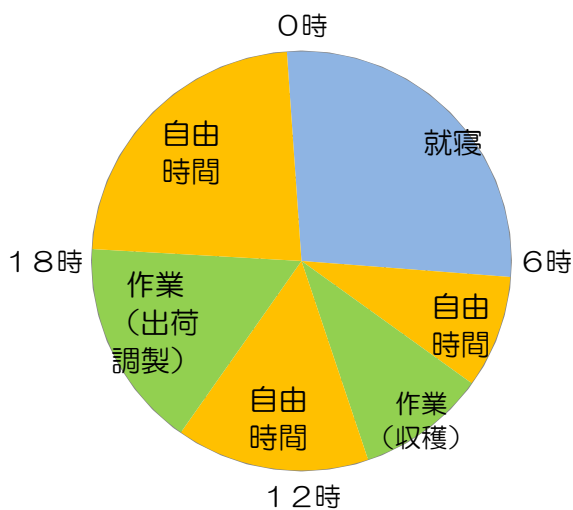


紅まどんなの収穫



収穫果実の運搬

【一日のライフスタイル】



【普段の生活について】

☆農業の未来は明るいと言えるよう、労力にあつた**品種更新**や**施肥管理**の研究等、**色々工夫**しています。

☆農業はやって行けるという**前向きな事**を農業高校や地域の会合等身近なところで**機会あるごと**に**情報発信**しています。

☆まとまった休みを利用して、お遍路参りに参加しています。

【一週間のライフスタイル】

月	火	水	木	金	土	日
【繁忙期】	← 収穫・出荷 →				← 休日 →	← 収穫・出荷 →
【普通期】	← 剪定・摘果・防除 →				← 休日 →	



キウイフルーツの剪定作業



農高生への事例発表

☆これからの夢や目指すもの☆

■農業で食べていけることを伝えていきたい！

条件の良い地域でしっかりとしたものを作れば、儲かるしやっていけるという前向きな話を、地元の農業高校や地域の会などで話しています。これからも発信し続けることで、**この地域を守る人を少しでも多く増やしていきたい**と思っています。

☆メッセージ☆

■農業は皆さんが思っているよりも明るい！

市場の人と話をしても感じますが、農業の未来は思っているより明るいと思います。

市場が求める「どんどん作って欲しいもの」を知り、いいものを作って、共販として農協から出荷することでしっかりとした収入を得ることができると思います。ただ、**そのためには農家自身にも工夫が必要だし、省力で高品質生産できる設備の導入**などを実践していく必要があるのではないのでしょうか。